

市町村名	嘉手納町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光史跡等説明板整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客受入体制の整備		
担当部課名	中央公民館	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 2	年度 III-1-1		
事業内容	町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図ることを目的として、町史跡、旧跡等へ多言語表記した説明板を設置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H25年度	H26年度	H27年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	3,000	3,758	4,546	5,115	16,419	
	B. 執行済額	2,835	3,758	4,546	4,180	15,319	
	うち 交付金充当額	2,268	3,006	3,637	3,344	12,255	
	執行率(%) (B/A)	94.5%	100.0%	100.0%	81.7%	93.3%	
執行状況の説明	令和2年度は、当初の予定通り2箇所の観光史跡等説明板を完了した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	R2年度
	町内の観光史跡等に説明板を設置する(2箇所)	目標	9箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
		実績	9箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	R2年度
	観光史跡説明板の整備率100% (設置箇所/全設置予定17箇所)	目標	53%	65%	76%	88%	100%
		実績	53%	65%	76%	88%	100%
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

**事業完了後の取り組み**

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R3年度	R4年度	○年度	○年度	R4年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	町文化財を活用した学習会等への参加人数 100人以上	目標	100人	100人		
		実績	90人			
		目標				
		実績				

状況説明	【R2年度】 ・説明板の設置を終了した。
	【R3年度】 ・嘉手納中学校の総合的な学習の時間において説明板を活用した歴史学習を実施した。 ・新型コロナウイルスの感染拡大で、講座等を積極的に実施することができなかったものの、参加者は90名となり、概ね目標を達成した。

<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地での文化財を活用した歴史学習において説明がスムーズに行えるようになった。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大で、講座等を積極的に実施することができなかった。</li> </ul>	<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明板を活用した歴史学習の機会を町内小中学校と連携して検討する。</li> <li>・コロナ禍においても小人数でも可能な学習会の実施の検討が必要である。</li> <li>・町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図るため、説明板設置箇所を含めた文化財マップを作成・公開しPRしていく必要がある。</li> </ul>
--	---

**今後の取り組み方針** (関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内小中学校と連携し、説明板を活用した歴史学習の機会を増やすとともに、町内小中学校の地域学習の授業・歴史学習の授業の中では、設置した案内板を活用することで、文化財の周知を図る。</li> <li>・コロナ禍でも小人数でも可能な学習会の実施するために、中央公民館の公民館講座に説明板を活用した野外歴史学習講座の開講について調整を行う。</li> <li>・町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図るため、説明板設置箇所を含めた文化財マップを作成し、町HP等で公開しPRしていく。</li> </ul>
--

市町村名		嘉手納町					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	嘉手納町防災情報発信強化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災 体制の強化	
担当部課名	総務課		事業実施 年度	平成 29 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)	
事業内容	災害時において町民及び観光客等の安全の確保を図るため、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムのデジタル化及び防災システム構築を行った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	7,462	13,500	-	-	20,962	
	B. 執行済額	7,128	13,500	-	-	20,628	
	うち 交付金充当額	5,702	10,800	-	-	16,502	
	執行率(%) (B/A)	95.5%	100.0%	-	-	98.4%	
執行状況の説明	嘉手納町の防災・減災に向けて防災無線システムのデジタル化及び防災システムを構築する為の基本計画・実施設計を策定した。R2年度に施工完了。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	防災情報システム整備事業基本計画の策定完了	目標	基本計画の策定				
		実績	基本計画の策定				
	防災システムの実施設計書の作成	目標		実施設計の策定			
		実績		実施設計の策定			
嘉手納町防災無線デジタル化及び防災情報システム整備工事の完了	目標			本体工事(1期)	本体工事(2期)	運用	
	実績			1期工事完了	2期工事完了	運用	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	防災情報システム整備事業基本計画の策定完了	目標	基本計画の策定				
		実績	基本計画の策定				
	防災システムの実施設計書の作成	目標		実施設計の策定			
		実績		実施設計の策定			
嘉手納町防災無線デジタル化及び防災情報システム整備工事の完了	目標			本体工事(1期)	本体工事(2期)	運用	
	実績			1期工事完了	2期工事完了	運用	

**事業完了後の取り組み**

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		R3年度 目標/発現年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	1回以上/年				
	防災無線等を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	実績	1回				
		目標					
		実績					
状況説明	【R2年度】 ・防災無線システムデジタル化及び防災情報システム整備完了。(令和3年3月) (令和2年度末に整備完了のため、令和3年度より避難訓練での効果検証を行う。)  【R3年度】 ・防災無線等を活用した地震・津波避難訓練が目標どおり1回行われた。						
<b>【完了後】事業効果等の確認</b> (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			<b>【完了後】改善措置等の検討</b> (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・町内の各種団体を対象とした地震・津波避難訓練が行われた。 ・訓練の開始時間に合わせて防災無線等にて災害情報を発報し訓練を開始した。 ・防災無線等を活用することでより実践的な訓練を行うことができ、防災意識の啓発がなされた。			【R3年度】 ・アンケート調査にて、風向き等の影響により無線が聞こえづらいとの意見があったため、無線の方向調整や音量調整等にて対応を行った。				
<b>今後の取り組み方針</b> (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 ・今後の避難訓練においても防災無線等の活用を行い、不聴地域の解消及び新たな情報伝達システムの検討等、検証を継続していく。							